



幼稚園
保育所
認定こども園

2022年度 ソニー幼児教育支援プログラム

保育実践 論文募集

貴園の取り組み、子どもたちの生き生きとした姿を
論文でご応募ください

主題「科学する心を育てる」ために、日々の子どもの姿や記録をまとめた論文を
募集しています。応募いただいた全ての園に助成などの支援をしています。

応募しやすくなりました！

ページ数が
減りました

ページ数上限 15ページ

Web応募

インターネットで簡単応募

(郵送不可・応募にはユーザー登録が必要です)

全応募園に
ソニー製品を
贈呈！



公益財団法人
ソニー教育財団

※2022年度から応募規定が変更になりました。詳細は中面をご覧ください。

募集内容

主題

「科学する心を育てる」～豊かな感性と創造性の芽生えを育む～

「科学する心を育てる」については裏表紙をご覧ください。

内容

子どもたちの主体的な遊びや生活を大切に、「豊かな感性」と「創造性の芽生え」を育むための保育実践とその考察に基づく今後の方向性を募集します。

必須項目

論文内には以下の点を必ず記述してください。記述がない場合は審査対象外となります。

1.「科学する心を育てる」についての貴園の考え方と取り組みのテーマ

主題「科学する心を育てる」についての考え方を明確にし、その考えと園の取り組みのテーマとの繋がりを記述してください。

2.具体的な子どもの姿に基づく実践の報告

子どもの言動、保育者の関わりや環境構成など、遊びの状況が分かる記述をしてください。

3.実践からの考察

上記の実践での子どもの姿を、1で述べた貴園が考える「科学する心を育てる」の視点から考察してください。

4.考察に基づく課題と今後の方向性や計画

- ・初応募園は、今年度の実践に限らず、数年前の実践や今年度にいたる継続的な実践もご応募いただけます。
- ・連続応募園は、前回の方向性や計画をどのように実践されたか、その内容と考察を記述してください。

募集要項

受付期間

2022年8月1日(月)～2022年8月31日(水) 15時 送信完了分まで

応募資格

国・公・私立の幼稚園・保育所・認定こども園など全ての乳幼児施設

- ・主に1歳～5歳児の実践が対象
- ・年間を通じて週5日以上保育をしていること
- ・応募は1園から1件のみ(2021年度の最優秀園は、今年度はご応募いただけません)

助成内容

最優秀園	教育助成金	200万円とソニー製品 ^{*1}
優秀園	教育助成金	30万円とソニー製品 ^{*1} (特にユニークな内容の論文には、審査委員特別賞を授与することがあります)
優良園	教育助成金	10万円とソニー製品 ^{*2}
奨励園	教育助成金	5万円とソニー製品 ^{*2}
チャレンジ賞	全応募園にソニー製品 ^{*3}	

^{*1}…4K液晶テレビ、デジタルカメラ VLOGCAM、ビデオカメラなどから1セット。

^{*2}…CDラジカセ1台 ^{*3}…デジタルスチルカメラ、ICレコーダーなどから1つ。

(上記ソニー製品は2021年度実績です。2022年度は変更になる場合があります。)

応募方法

論文をPDFファイルにして、当財団ウェブサイトの応募フォームよりお送りください。
応募の際に必要な情報は(論文以外)、フォームに直接入力していただきます。

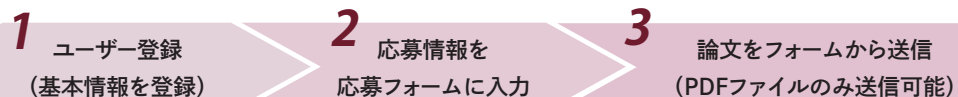
- ・応募には当財団ウェブサイトのユーザー登録が必要です。
(ユーザー登録は園ごとではなく応募者が個人で登録)
- ・応募完了後、送信した情報の変更はできません(論文の差し替え含む)。
- ・内容に不備がある場合は受理できません。また、論文は返却しません。

応募URL



<https://www.sony-ef.or.jp/program/preschool.html>

応募の流れ ユーザー登録フォーム・応募フォームは2022年8月1日公開予定



ご応募いただく論文および関連情報について、以下の点をあらかじめご理解・ご了承の上、ご応募ください。

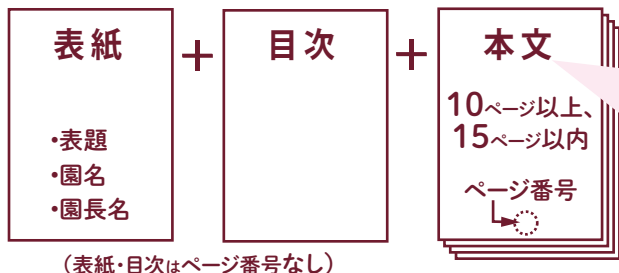
- ・論文、園名、所在地、研究内容などの関連情報は、当財団が、成果の還元、普及や、広報活動のために使用、公開させていただきます。
- ・論文を本プログラム以外で使用、公開、出版、掲載等することを希望される場合には、事前に当財団にご連絡の上、許可を得ていただきます。
- ・応募情報(論文含む)は、当財団が、本プログラムに関する審査結果の通知、各種行事の案内、その他の連絡・確認のために使用させていただきます。
- ・ご応募いただく論文は、関連するすべての権利(本文および使用された写真等にかかる著作権、ならびに上記の当財団による使用等を許諾する権利を含むがこれに限らない)を、応募者が保有しているものに限りします。

作成規定

A4

A4判、本文のみページ番号を付記

「本文」について



【ページ数】	10ページ以上、15ページ以内
【文字サイズ】	[本文] 10.5ポイント以上 [図表] 8ポイント以上
【ページ番号】	本文のみページ番号付記
【実践事例】	実践時期(年・月)と対象年齢を明記
【参考・引用文献】	本文中に明記
【研究代表者名・執筆者名】	最終ページに明記

作成にあたって

- ・過去の応募論文からの転載(文章・写真等)は、減点あるいは審査対象外とします。これらの転載が必要な場合は、本文中に論文応募時の年度を記載してください。
- ・すでに他で発表している論文と概ね同じ記述の論文は、審査対象外とします。

審査

審査の観点

- ① 子どもの主体性や感性、発想・意欲を活かした、ユニークで新規性のある取り組みか。
- ② 貴園が考える「科学する心」が明確に記述されているか。
さらに、園独自の「科学する心を育てる」保育の手立てが示されているか。
- ③ 子どもの姿や保育者の関わりや環境構成などが具体的に記述されているか。
- ④ 貴園が考える「科学する心を育てる」視点から、子どもの育ちや変容を的確に捉えて考察しているか。
- ⑤ 考察に基づく課題を抽出し、それを改善するための「今後の方向性(計画)」が具体的に記述されているか。
- ⑥ 園や地域の特色や保護者・学校との連携などを活かした保育の工夫により、豊かな体験につながっているか。

連続応募の場合

上記に加え、前年度の課題や計画に対する取り組みや、前年度からの内容の深まりも評価の対象とします。

上位入選候補園については、実践状況の確認のために、審査の過程で個別調査を行います。

審査委員長	小泉 英明	株式会社日立製作所 名誉フェロー
審査委員	青木 清	上智大学 名誉教授
	秋田 喜代美	学習院大学 教授
	大豆生田 啓友	玉川大学 教授
	河合 優子	聖徳大学 教授

入選発表

2023年1月中旬以降 発表予定。応募園には郵送で結果をお知らせします。

成果発表

最優秀園と優秀園には、受賞の翌年度に以下の成果発表にご協力いただきます。

最優秀園および
審査委員特別賞

- ・論文の全文公開(写真を含む)
- ・2023年度に「実践発表会」を開催(必須)

優秀園

- ・論文の全文公開(写真を含む)

- ・優秀園は希望する場合のみオンライン等でご発表いただけます。優秀園による研究会の開催は予定しておりません。
- ・発表会の開催園には、当財団より助成金や開催支援を行います。
- ・入選園には、論文データなどの情報の提供にご協力いただきます。優れた実践をウェブサイトなどで広く紹介します。

ここが
変わりました!

今年度からの変更点を
まとめてチェック!

作成規定

- point 1 ページ数上限 15ページ
文字サイズ[本文]
10.5ポイント

応募方法

point 2 Web 応募のみ

- 郵送不可。
- 応募にはユーザー登録が必要
(園としてではなく応募者個人での登録)

締切時間

- point 3 8月31日 15時
当日中ではありません
15時の時点で送信完了できるよう
余裕をもってお送りください

科学する心を育てる ～豊かな感性と創造性の芽生えを育む～

主旨

子どもたちが自ら人や自然、もの、出来事と様々にかかわる暮らしの中で、豊かな感性が育まれ、主体的に遊ぶ楽しさ、学ぶ楽しさを味わう体験を通して創造性の芽生えが育まれる保育を実践する。

科学する心

- すごい!ふしぎ!と身の回りの出来事に驚き、感動し、想像する心
- 自然に親しみ、自然の不思議さや美しさに驚き、感動する心
- 動植物に親しみ、様々な命の大切さに気付く、命と共生し、人や自然を大切にする心
- 暮らしの中で人、もの、出来事と意欲的にかかわり、ものを大切にする心、感謝する心や思いやりの心
- 遊び、学び、共に生きる喜びを味わう心
- 好奇心や考える心、その心の動きから生まれる創造性や分かった時の喜びを味わう心
- 自分の思いや考えを表現し、考え・つくり出していく楽しさの体験や、やり遂げる心

みなさんは、子どもたちの「科学する心」をどのように捉え、どのように育てていますか？

2021年度 入選園

全ての入選園は、当財団ウェブサイトに掲載しています。

最優秀園

- |(福)さがみ愛育会 幼保連携型認定こども園 愛の園ふちのべこども園 (神奈川県)
- |京都市立明德幼稚園 (京都府)

優秀園 審査委員特別賞

- | (学) 鈴蘭台学園 認定こども園 いぶき幼稚園 (兵庫県)



ソニー教育財団の活動 — 60年以上に亘るソニーの教育助成 —

ソニーの創業者井深大の教育への思い「戦後の日本の復興のためには理科教育が最も重要である」という考えに基づき、1959年に「ソニー理科教育振興資金」を開始しました。その活動は子どもたちの感性・創造性・主体性の育成を目指した「ソニー子ども科学教育プログラム」へと発展しました。現在は小・中学校の教育実践、幼稚園・保育所・認定こども園の「科学する心」を育む保育実践の募集を行い、さらには2021年度から小・中学校の教職員を対象とした「教育方針と授業計画」を新設し、教育助成金とソニー製品を贈呈しています。また、先進的な教育を行う全国の先生方、学校・園を応援して参ります。



会 員 募 集

乳幼児のための
「科学する心」ネットワーク

「明日の保育」をともに考える
保育者会員を募集しています

乳幼児の「科学する心」ネットワーク

「科学する心」の視点で乳幼児期の子どもの「ワクワク・ドキドキ」を見つめながら、さまざまな地域の仲間と保育の実践や悩みを共有し合い、学び合う活動を行っています。会員専用Facebookグループでは大勢のメンバーが繋がり、保育について語り合っています。「明日の保育をともに考える」仲間に、あなたもありませんか？

<https://www.sony-ef.or.jp/kagakukokoronet/>

小・中学校の先生への支援

教科を問わず、「将来を担う子どもたち」に必要な資質や能力を考え、「科学が好きな子どもを育てる」活動を行っている小・中学校の教員およびその団体に対しての支援を行っています。また、優れた実践や研究を教育関係者に広く公開する研修会や、さまざまな分野の専門家・見識者のオンライン講演会を開催し、それらを通じて、全国の教員が学び合い、磨き合う環境づくりをサポートしています。



保育実践紹介

保育実践論文の入選園の事例をテーマごとにまとめた冊子「実践事例集」と、実践をキーワードやカテゴリで検索できるウェブサイト「保育のヒント」では、オスメの保育実践を紹介しています。日々の保育にご活用ください。

子どもたちへの支援

科学への興味を深めるため、ソニーグループの技術者が講師となって行う、小・中学生、高校生を対象にした「ソニーものづくり教室」の開催を支援しています。

